

平成30年12月12日(水) 13068号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
 大阪市北区天満2丁目12番3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL (06) 6353-7831 (代表)
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
 東京都品川区北品川1丁目9番7号
 トップレーム品川1015
 TEL (03) 6869-9983 (代表)
 info@nikkankinzoku.co.jp
 https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12か月 72,000円(税別) データ12か月 84,000円(税別)
 6か月 36,000円(税別) 配信料 6か月 42,000円(税別)

18年1~8月の世界銅需給

見掛け消費が堅調に増加

供給不足は25.9万トンに

国際銅研究会 (ICSG) はこのほど、2018年1~8月の世界の銅需給動向(推定値)をまとめた。銅地金は生産量(二次スクラップ含む)が約1,561万5,000トン、見掛け消費量は約1,587万4,000トンで、差し引き25万9,000トンの供給不足だったとしている。供給不足幅は、前年同期の9万8,000トンから拡大した。

1~8月の鉱山生産量は1,339万9,000トンで、前年同期比40万8,000トン(3.1%)増加。生産能力に対する稼働率は81.9%で、昨年同期から1.2ポイント上昇した。チリは、昨年同期にエスコンディエーダ鉱山で発生したストライキからの回復傾向が続き、8%の伸びとなった。このほか、インドネシアは、昨年同期の鉱石輸出の一時規制の要因がなくなったことから、27%と大幅増が継続。また、コンゴも11%の増産となった。

18年1~8月の世界銅需給(単位:万トン)

	18年8月	18年1~8月
鉱山生産量	169.3	1,339.3
銅地金生産量	196.1	1,561.5
銅地金見掛け消費量	199.3	1,587.4
生産量-消費量	▲3.1	▲25.9

▲は供給不足

銅地金生産量(二次スクラップ含む)は、昨年同期の1,546万3,000トンから15万2,000トン(1.0%)増加。チリは4%増えたほか、インドネシアや日本でも伸びた。中国では生産能力の拡大が継続しているとICSGは分析。稼働率は84.6%で、前年同期から0.4ポイント低下した。

銅地金の見掛け消費量は前年同期の1,556万2,000トンから31万2,000トン(2.0%)増えた。消費量が最大の中国は、4.5%のプラス。同時期の銅地金純輸入量は15%増加した。インドや日本、欧州連合(EU)でもそれぞれ増加、米国は前年同期からほぼ横ばいだったとしている。



中国:洛陽モリブデン業社、IXM社の100%株式権益を買収予定

洛陽栾川モリブデン業集団株式有限公司の全額出資子会社である洛陽モリブデン持株社(CMOC Limited社)は、NCCL Natural Resources Investment Fund LP社の全額出資子会社であるNew Silk Road Commodities Limited(NSR社と略称する)と「株式権益売買契約」を締結した。売買金額は、4.95億US\$であり、NSR社は保有するNew Silk Road Commodities SA社(NSRC社)の100%株式権益を買収する予定。NSRC社を通じて間接的にIXM B.V.社の100%の株式権益を保有することとなる。

IXM社は、2005年11月に設立され、本部はジュネーブにあり、世界各地に専門家チームを発足させている。主に銅、亜鉛、鉛精鉱及び銅アノード、精製ベースメタルの調達、ブレンディング、輸出、運送等の業務を展開し、製品は主にアジアやヨーロッパに販売している。

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
 砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314
 電話 0774-43-6700(代表)

三菱マテリアル

アルミワイヤーハーネス

コネクタ端子防食めっき技術開発

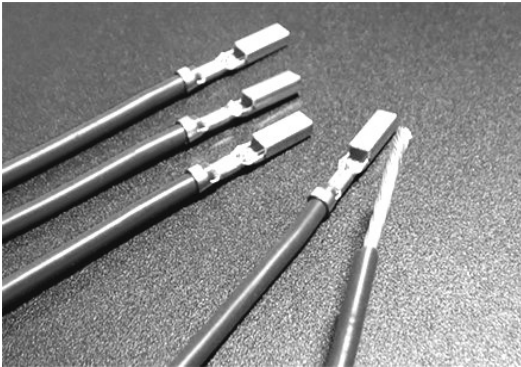
三菱マテリアル(小野直樹社長)は、連結子会社である三菱伸銅と共同で、自動車向けアルミワイヤーハーネスのコネクタ端子用防食めっき技術を開発した。

両社の技術を応用し、銅合金端子の表面処理に広く用いられている錫めっきの中に、新たに亜鉛(Zn)を添加してガルバニック腐食の進行を大幅に抑制する防食めっき技術を開発した。

防食めっき技術では、アルミに近い腐食電位を持つ亜鉛と、従来から銅合金端子の表面処理に用いられている錫(Sn)を積層し、錫めっき表面に亜鉛を拡散させためっき構成となっている。錫めっき表面の腐食電位をアルミの持つ電位に近接させることで、銅合金端子とアルミ電線との間の腐食電位差を制御してガルバニック電流を長時間にわたって大幅に抑制することを可能にした。さらに、銅合金端子

の防食めっきは従来から錫が主成分であることから、これまでの錫めっきと同等の電氣的接続信頼性も確保した。従来技術と比べて製造コスト面でも優位性が期待できるとしている。

自動車のアルミワイヤーハーネスは、銅合金製のコネクタ端子とアルミ電線で構成しているが、接続箇所にてガルバニック腐食が発生して接続信頼性が低下するという問題点が指摘されている。銅合金端子とアルミ電線の間で発生する腐食の防止処理は、製造コストが上昇するほか、銅合金端子の小型化の阻害要因にもなるため、ワイヤーハーネスのアルミ化を進める上で大きな課題となっており、三菱マテリアルと三菱伸銅が研究を続けていた。



アルミ電線と接続した防食めっきコネクタ端子

世界を結ぶ循環流通サービス
原料から製品まで



銅・亜鉛・鉛・錫・ニッケル・アルミ・非鉄金属全般

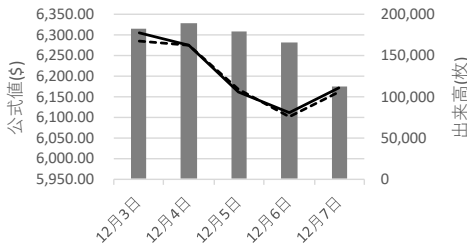
株式会社 扇谷

本社 大阪市西区土佐堀町1丁目3番7号
tel:06-6444-1521~1530
東京支社 東京都千代田区神田錦町3丁目15番地
tel:03-5282-4800
名古屋支社 名古屋市中村区名駅3丁目16番22号
tel:052-571-2005
海外 シンガポール・香港・タイ・台湾・
マレーシア・フィリピン・上海・深圳・ベトナム

<http://www.ogico.co.jp>

LME公式値週間推移 12月3日~12月7日(現地)

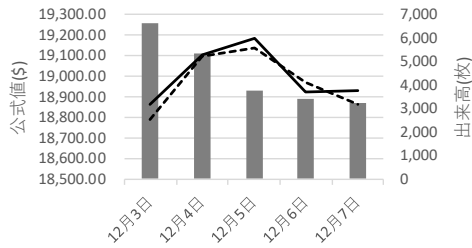
LME銅AG



	12月3日	12月4日	12月5日	12月6日	12月7日
出来高	183,327	190,321	179,492	166,840	112,371
直物	6,306.50	6,277.50	6,161.50	6,111.00	6,172.50
先物	6,286.00	6,277.50	6,168.00	6,101.00	6,162.25

出来高 直物 先物

LME錫HG



	12月3日	12月4日	12月5日	12月6日	12月7日
出来高	6,651	5,374	3,764	3,410	3,235
直物	18,862.50	19,105.00	19,187.50	18,925.00	18,927.50
先物	18,787.50	19,100.00	19,137.50	18,970.00	18,862.50

出来高 直物 先物



亜鉛建値1万2,000円引き下げ34万9,000円 12月の月内建値平均は35万1,400円

三井金属鉱業は11日、電気亜鉛建値を1万2,000円引き下げ34万9,000円と発表し、同日から実施した。2018年12月の月内建値平均は35万1,400円。

11日入電のLME亜鉛相場のセツルメントは2,678.00ドル、同日の東京外国為替市場の米ドルTTSレートは114.11円、この値で換算した採算価格は30万5,500円。建値と採算価格から見た諸掛りは4万3,500円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(単位キロ当たり円、カッコ内は改定日)。

2018年

□7月	370(2)352(5)340(11)328(17)340(20)343(25)	平均345.6
□8月	349(1)340(7)298(16)307(21)334(27)	平均328.5
□9月	325(3)316(10)298(18)343(25)	平均320.5
□10月	352(1)358(4)346(12)355(23)352(26)	平均351.9
□11月	337(1)343(9)352(16)349(21)343(27)	平均343.4
□12月	352(3)361(6)349(11)	平均351.4

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎

11月のアルミ概況および12月の見通し (2)

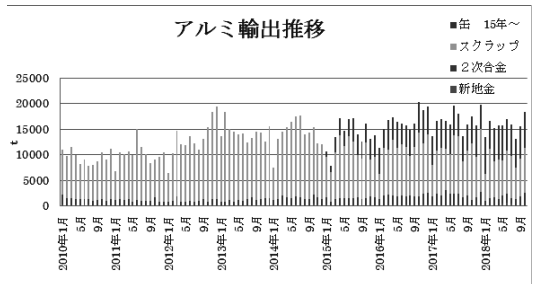
◆貿易指標

輸出

財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ新地金が前年比+50.6%の125 t、2次合金が+119%の2,401 t、スクラップが-19.8%の8,833 t、アルミ缶が+28.6%の6,968 t。

輸出	8月	9月	10月
新地金	99 t	151 t	125 t
前年比	+2.1%	-8.5%	+50.6%
二次合金	1199 t	1640 t	2401 t
前年比	-25.6%	-9%	+119%
スクラップ	6185 t	7458 t	8833 t
前年比	-12.8%	-15.4%	-19.8%
缶	5687 t	6286 t	6968 t
前年比	+17.3%	-21.3%	+28.6%

輸出推移



出典 財務省貿易統計

輸入

輸入は新地金が前年比+55.4%の17万1067 t、二次合金が+2.5%の11万2,311 t、スクラップが+389.5%の2,051 t、合金スクラップは+7.2%の4,429 t。

輸入	8月	9月	10月
新地金	12万5213 t	10万6115 t	17万1067 t
前年比	-14.8%	-11.6%	+55.4%
二次合金	10万8036 t	8万9683 t	11万2311 t
前年比	+4%	-11.6%	+2.5%
スクラップ	1282 t	1461 t	2051 t
前年比	119.5%	+192%	+389.5%
合金スクラップ	3249 t	2672 t	4429 t
前年比	-13.3%	-14%	+7.2%

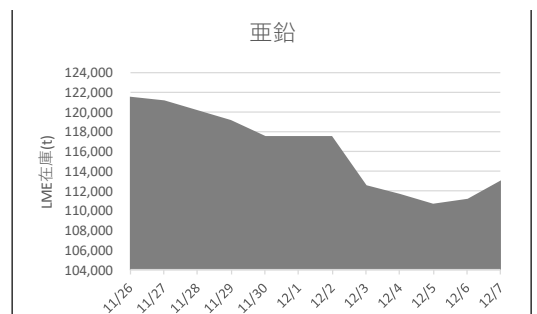
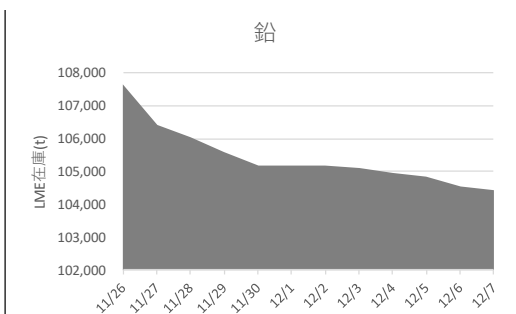
【次号へ続く】

日刊金属 既刊収録サイト

<https://nikkankinzoku.co.jp/>



LME認定倉庫在庫推移 11月26日~12月7日 (現地)





銅建値1万円引き下げ73万円

12月の月内建値平均は73万4,700円

JX金属は11日、電気銅建値を1万円引き下げ73万円と発表し、同日から実施した。2018年12月の月内建値平均は73万4,700円。

11日入電のLME銅相場セツルメントは6,112.00ドル、同日の東京外国為替市場の米ドルTTSレートは114.11円。この値で換算した採算価格は69万7,400円。建値と採算価格から見た諸掛りは3万3,600円となる。

直近6か月の建値推移は次の通り(キロ当たり円、カッコ内は改訂日)。

2018年

□7月	780(2)750(5)730(12)720(20)730(25)	平均740.4
□8月	750(1)730(3)720(8)710(15)690(20)700(23)720(28)	平均716.0
□9月	710(3)700(6)710(13)720(19)750(25)	平均717.7
□10月	750(1)770(4)750(9)740(16)730(19)740(24)	平均744.7
□11月	720(1)760(5)740(8)730(13)750(16)740(21)	平均741.0
□12月	750(3)740(6)730(11)	平均734.7



黄銅削粉11円引き下げ541円

関西の黄銅棒大手N社と三菱伸銅は11日、黄銅削粉の買値を11円引き下げ541円とすると発表した。

故銅市況

11日入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場の直物前場売値が、前週末の6,173.00ドルより61.00ドル安の6,112.00ドル。この日の直物後場買値は、前週末の6,153.00ドルより59.00ドル安の6,094.00ドル。カーブ取引は前週末の6,145.00ドル～6,146.00ドルより56.00ドル安の6,089.00ドル～6,090.00ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場(12月限)は前日の275.75セントよ3.90セント安の271.85セント。SHFE(上海先物取引所)の銅相場(12月限)は、前日の4万9,120元より90元安の4万9,030元。

11日の東京為替市場TTSレートは、前日の113.52円より0.54円の円安ドル高の1ドル=114.11円。NYカーブLME先物比は2.50ドル高。11日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,112.00ドル。この値と11日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内

採算値は、前日の74万円より3,000円安の73万7,000円。この日、電気銅建値は73万円に引き下げられた。

為替動向

10日から11日午前にかけての外国為替市場で、円相場は1ドル=113円台に反落した。

11日午前の東京外国為替市場、午前9時時点の気配値は、1ドル=113.18円～113.21円、前日の17時時点に比べ0.54円の円安・ドル高。

10日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は1ドル=112.90円～113.00円、前週末の同時刻比0.30円の円安・ドル高だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前週末比0.57円の円安・ドル高、1ドル=113.26円～113.36円で取引を終えた。

欧州連合(EU)からの離脱をめぐり、英国のメイ首相が離脱合意案の議会下院での採決を延期すると発表した。EU離脱の先行き不透明感が広がり、英ポンドが主要通貨に対して下落。ドルが各通貨に対して強含む中、円も対ドルで下げ基調となった。米株式市場で、一時500ドル下げたダウ工業株30種平均が取引後半に値を戻し、投資家のリスク選好から低リスク通貨とされる円が売られやすい地合いとなった。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、112.69円～113.37円だった。

朝方の東京市場では、前日の米株式市場の反転上昇を受けた円売り・ドル買いの流れを引き継ぐ形で取引が進んだ。主要通貨に対して上昇したことがドルの支援材料となっているとの指摘もあった。

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が619～608、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは584～589、並銅は523～528、込銅(高品位=約97%)は483、セバは535～540。コーベルは要り用筋で466、それ以外は458ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋421、それ以外404～429どころの値頃。並青銅鋳物削粉は454～459どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が586～591、上銅新くずが573～593、普通上銅が540～550、2号銅線が546～556、並銅が511～512、込銅(90-93%)が470～437、下銅が275～325、セバが502～512、コーベルが458～498、黄銅棒地が454～459、黄銅削粉が362～409、黄銅ラジが399～407、交叉ラジが330～341、黄銅銅鋳物が366～373、送りが182～197、上青銅鋳物が464～480、並青銅鋳物が456～469、上青銅鋳物削粉が461～480、並青銅鋳物削粉が454～458どころ。

非鉄金属全般
銅 滓・新棒 コロ

誠実対応の 高田商店

代表者 高田才吉

〒544-0001 大阪市生野区新今里7丁目11-11

☎ 06-6753-1643

FAX 06-6753-4545



LME銅は反落 中国輸入統計の悪化が背景
カーブ取引も反落 COMEX銅相場も反落 SHFE銅相場も反落
LME非鉄相場は公式値ベースで総じて軟調 ファーウェイ問題が悪材料に
鉛は続伸

11日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前週末の6,172.50ドルより61.50ドル安の6,111.00ドル。3か月物も、前週末の6,162.25ドルより53.75ドル安の6,108.50ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前週末の12万4,000トンより約2,000トン減のおよそ12万3,000トン（丸め込み）。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（12月限）は、前週末の275.75セントより3.90セント安の271.85セント。カーブ取引は、前週末の6,145.00ドル～6,146.00ドルより56.00ドル安の6,089.00ドル～6,090.00ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（12月限）は、前週末の4万9,120元より90元安の4万9,030元。

8日発表された中国税関統計で、11月の未加工銅輸入が前年同月比3%減少。ファーウェイ問題など米中貿易摩擦解消への期待感が遠く、低調な数字が材料視された。11月の中国銅輸入は前月比で8.6%増。前年11月の輸入量が「季節外れの大きさだった」との指摘もある。また、LME3か月物に上乗せされる中国輸入銅の価格プレミアムは、現在トン当たり67.50ドル。先週は1年半ぶり低水準の62.50ドルだった。

錫はまちなち

LME錫相場の直物は、前週末の1万8,927.50ドルより12.50ドル安の1万8,915.00ドル。3か月物は、前週末の1万8,862.50ドルより25.00ドル高の1万8,887.50ドル。

鉛は続伸

LME鉛相場の直物は、前週末の1,964.50ドルより10.75ドル高の1,975.25ドル。3か月物も、前週末の1,979.00ドルより14.25ドル高の1,993.25ドル。

亜鉛も反落

LME亜鉛相場の直物は、前週末の2,708.50ドルより31.50ドル安の2,677.00ドル。3か月物も、前週末の2,622.00ドルより36.50ドル安の2,585.50ドル。

アルミも反落 アルミ合金はまちなち 北米特殊アルミ合金もまちなち

LMEアルミ相場の直物は、前週末の1,961.50ドルより11.00ドル安の1,950.50ドル。3か月物も、前週末の1,958.25ドルより7.50ドル安の1,950.75ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、前週末の1,425.00ドルより5.00ドル高の1,430.00ドル。3か月物は、横ばいの1,415.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前週末の1,377.50ドルより17.00ドル安の1,360.50ドル。3か月物は、前週末の1,395.00ドルより5.00ドル高の1,400.00ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前週末のおよそ104万3,000トンより約2,000トン減のおよそ104万1,000トン。

ニッケルは続落

LMEニッケル相場の直物は、前週末の10,812.50ドルより77.50ドル安の10,735.00ドル。3か月物も、前週末の10,917.50ドルより92.50ドル安の10,825.00ドル。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(12月前半)

2S=189円～197円、63S=186円～189円、アルミホイール(1P)=183円～188円、ビス付サッシ=137円～141円、エンジンコロ=143円～145円、込合金(機械鋳物)=139円～141円、缶プレス(ソフト)=106円～120円。

関西地区(12月前半)

2S=184円～192円、63S=182円～186円、52S=194円～198円、印刷版=189円～194円、アルミホイール(1P)=172円～177円、ベースメタル=196円～201円、機械鋳物=143円～148円、ダライ粉=115円～118円、ビス付サッシ=138円～143円、缶プレス=121円～126円。

社会の発展とその未来に
テクノロジーで対応する



地球にも、人にもやさしい KYOWA のエコ電線

タイシガイセンEM 600V EEF/F

<http://www.kyowadensen.co.jp/>



協和電線工業株式会社

KYOWA ELECTRIC WIRE INDUSTRY CO.,LTD.

〒581-0026 八尾市曙町1丁目7番

TEL (0729) 91-0818 (代) FAX (0729) 91-4470

LME公式値 (単位: ドル) / 12月10日 (現地)

	銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル	
直物	公式値	6,111.00	18,915.00	1,975.25	2,677.00	1,950.50	1,430.00	1,360.50	10,735.00
	前営業日比	▲ 61.50	▲ 12.50	10.75	▲ 31.50	▲ 11.00	5.00	▲ 17.00	▲ 77.50
先物	公式値	6,108.50	18,887.50	1,993.25	2,585.50	1,950.75	1,415.00	1,400.00	10,825.00
	前営業日比	▲ 53.75	25.00	14.25	▲ 36.50	▲ 7.50	0.00	5.00	▲ 92.50

海外非鉄金属相場

(12月11日 入電・現地 12月10日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル) and their prices (前買, 場売, 後買, 場売).

Table for NY COMEX market with columns for metal types (銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム) and their prices for various terms (12月限, 1月限, etc.).

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table for LME and COMEX prices with columns for metal types (銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル) and their prices in different units.

フリー・マーケット

米国内産者価格

Table for domestic producer prices for copper and silver.

NY相場

Table for NY market prices for copper and silver.

ロンドン相場(ドル)

Table for London market prices for various metals like gold, antimony, bismuth, etc.

K L T M 錫 (Mドル/キロ、出来高トン)

Table for K L T M tin prices with columns for market, output, and exchange rates.

L M E 在庫(トン)

Table for LME inventory for various metals.

COMEX 銅在庫(トン)

Table for COMEX copper inventory.

NYカーブ

Table for NY curve prices for copper and aluminum.

上海相場

Table for Shanghai market prices for copper, aluminum, lead, and zinc.

非鉄金属製品相場

(12月11日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	◆ 960	◆ 990	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	◆ 970	◆ 1000	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	◆ 1130	◆ 1190	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	◆ 1160	◆ 1170	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	◆ 830	◆ 870	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	◆ 930	◆ 980	軽圧品(仲値)	大阪	東京
銅条1.5×100	◆ 940	◆ 980	アルミ箔0.007ミリ	945	935
銅線0.9ミリ	◆ 1020	◆ 1040	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	◆ 940	◆ 980	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	◆ 1220	◆ 1230	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	◆ 800	◆ 815	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	◆ 825	◆ 835	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	◆ 980	◆ 1025	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	◆ 1355	◆ 1305	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	◆ 1325	◆ 1345	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	660	670	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	690	700			
四角棒	720	730	貴金属(一般小口向け)		
鍛造用	700	710	白金(グラム)	◆ 3183	
ネーバル	800	810	パラジウム(グラム)	◎ 4908	
高力	800	810	金(グラム)	◎ 4926	
黄銅線6ミリ	◆ 1040	◆ 1080	銀(キログラム)	60150	
黄銅平角線ロール仕上	◆ 1240	◆ 1295			
黄銅条1.5×100	◆ 795	◆ 835	レアメタル輸入価格	10月通関 (CIF)	
リン青銅板一般用1.0ミリ	1860	1840	金属ケイ素(99.99%未満)	232	
〃 バネ用0.3ミリ	2080	2050	モリブデン酸化物	2231	
リン青銅棒25ミリ	2130	2140	タンタル	28008	
リン青銅線3ミリ	2280	2260	マグネシウム	297	
洋白板一般用1.0ミリ	2650	2630	コバルト	8991	
〃 バネ用1.0ミリ	2840	2820	インジウム	27203	
減摩合金	12月1日改定		銅合金地金	12月1日発表	
(500kg以上、大口価格)			(標準価格)	大阪	東京
1種	2685		BC 1種	800	—
2種	2620		2種	980	—
3種	2545		3種	1025	—
4種	2245		6種	860	—
5種	2170		7種	895	—
7種	885		YBSC 3種	710	—
8種	800		LBC 3種	990	—
9種	715		PBC 2種	1045	—

合金鉄	10月輸入単価 (CIF)
フェロマンガン2%以上炭素含有	137
〃 その他	162.8
フェロシリコン55%以上	163
フェロクロム4%以上炭素含有	160.8
フェロモリブデン純分60%以上	2123
フェロバナジウム	7535
フェロニッケル33%未満	422.3
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

